

自分たちの農業基盤を作り 目標は規模拡大



鮮やかな緑色が一面に広がるハウスで、収穫作業に励む松本祥吾さんと舞佳さん夫妻は、周年でコマツナを栽培しています。2人は同じ高校に通った同級生で、平成29年に結婚しました。舞佳さんは、「夫は、見た目と違つてすごく優しい人だという印象でしたね」と笑いながら当時を思い出します。今は3人の子どもに恵まれ、子育てに奮闘しながら共に農業に励んでいます。

代々続く農家に生まれた祥吾さんは、高校卒業後に名古屋の青果市場に就職して、野菜の物流や品質を学び、他産地の視察、交流も経験しました。20歳のときに家業を継いで就農し、今は耕耘や施肥、出荷調製作業などを中心にしています。舞佳さんも結婚して程なく就農し、主に収穫作業を担当しています。周年栽培

培していると、季節によって生育が変わるため、時季に適した品種を栽培するなど、年間を通して高品質なコマツナを生産できるように努めています。丁寧な土づくりにもこだわります。松本さんのハウス内は、どこを見てもきれいに育ち、隅々まで整備されています。

祥吾さんが、「農業をしながら家事や子育てを両立させてくれて、いつもありがとう」と話すと、舞佳さんも「育児や料理もしてくれて、イクメンパパで感謝しています」と照れながら返します。

農作業は分担しているので、ハウス内ではあまり一緒にならないと言いますが、冗談も飛び交い、息はびつたり。将来は自分たちの農業基盤をつつ、栽培面積を増やしていけるよう、2人で日々努力を続けていきます。

私たちの

農ライフ

浜松市中央区大久保町
松本 祥吾さん(31)
舞佳さん(31)